

平成26年3月 No31

発行：中山国際交流協会

夢と希望をつないだ20年

20周年記念事業について

中山国際交流協会会長 平 福 孝



テメキュラ市との姉妹都市締結から今年で20年になります。

この間に様々な出来事がありました。イラク戦争や東日本大震災があり、最近では近隣の国々とのギクシャクした関係が影を落としています。また明るい出来事では阪神タイガースの優勝、荒川静香選手のイナバウアーで金メダル、なでしこジャパンのワールドカップ優勝、小惑星探査機「はやぶさ」の帰還など…。

姉妹都市交流にとって一番大きな出来事は3町合併でした。交流締結は行政の約束です。予算が圧迫されての合併なので交流事業はどのようになるのかと大変心配しました。しかし大山町になっても交流事業は続けると明言され、今日に至っています。

20年以上に及ぶ町の理解と会員の心温まる協力、参加があって友好交流が続き、それが少しずつ太く、広く、深くなっています。

大山町は20周年を新たな節目として今後も友好交流を継続発展していくため、記念事業実行委員会を立ち上げ、森安元義実行委員長のもと、記念事業を計画し実行に移すべく活動をしています。

5月には森田町長ほか、10名程度がテメキュラ市を訪問、10月にはテメキュラ市から来町され、20周年を祝うセレモニーをするなど幾つかの記念事業があります。

多忙な時期ですが、20年を祝うためにみなさんのご協力をお願いします。



テメキュラ市にある10周年の銘板



テメキュラ市
中山パークでの記念植樹



太く、広く、深く

小さな交流の木が、20年の年月をかけて大きな幹になり、葉がたくさん茂りました。これからは、交流の花が咲くでしょう。

中学生から小学生へのテメキュラ報告会 (2013.12.12)

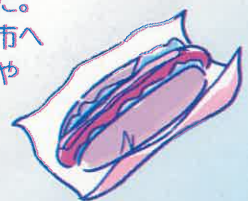
小学生にも関心を深めてほしいとの思いから、テメキュラ市を訪問した中学生が小学校で報告会をしています。今年で2回目になります。



わいわいフェスティバル (2013.11.3)

テメキュラドッグと韓国物産の販売をしました。

テメキュラ市へ行った中学生や高校生も手伝ってくれました。



韓国物産の販売です



テメキュラドッグ、おいしいですよ!



うら方も大いそがし

テメキュラ市訪問団 激励会 (2013.11.3)



行ってきます!

12月1日~12月10日にテメキュラ市への訪問団の皆さんの激励会を行いました。

訪問への意気込み、訪問経験のある方からアドバイスなど、語り合いました。



活動報告

歓迎! 訪問団

(2013.3.24 ~ 4.1)



後場表敬訪問



フレンドシップパーティーにて



フレンドシップパーティー みんなでダンス!

テメキュラ市から、中学生2人・高校生2人・姉妹都市委員会1人の訪問団が来町されました。

茶道など日本文化の体験、中学校への訪問や部活体験などをされました。

歓迎のフレンドシップパーティーでは、一緒にダンスをするなど盛り上がりました。

夕涼み焼肉パーティー

(2013.7.13)

毎年恒例の焼肉パーティーです。おいしい焼肉と飲み物に盛り上がり、会員とおしの交流も深まりました。



カンパニー!



テメキュラ市訪問報告会& クリスマスパティ

(2013.12.21)



中学生報告



大人の報告

中学生や大人のテメキュラ訪問の報告を聞きました。

楽しかったこと、驚いたこと、勉強になったことなど、たくさんの体験談を聞かせていただきました。

クリスマスパーティーでは、会員が作った料理や琴・ハンドベル・合唱団まゆの演奏、ゲームなどで交流しました。

今年は、中学生から報告を聞いた小学生の希望者の参加者もありました。



たくさんの料理がそろいました



琴の演奏をしていただきました



ハンドベル、アンコールいただきました



ジャンケンゲームで盛り上がりました



まずは料理を!



準備もみんなて



サンタのキャンドルサービス

大山町テムキュラ市姉妹都市締結 20周年記念事業実行委員会

委員長
森 安 元 義



ふる里創生基金を活用して始まった国際交流は、年々発展し、活発化し、平成6年に姉妹として米国テムキュラ市と旧中山町との調印式が実施され、さらに中山中学校とテムキュラ市マルガリータミドルスクールとの姉妹校縁組も結ばれ、今まで交流を深めてまいりました。そして平成17年の合併により大山町となってからも交流は引き継がれ発展を続けてきました。

そしてその交流は今年（平成26年）で20周年の記念の節目を迎えることとなりました。そこで森田町長からの要請により姉妹都市締結20周年記念事業の企画実行委員会が発足し、7回の協議を重ね検討した結果を踏まえ、その具体的実行案を作り上げていくため役員を中心に知恵をしぼっています。

その具体案の一部をここに報告し、大山町の皆さんをはじめ国際交流協会の方へご協力をお願いしていきたくと思います。

＊一点目は姉妹都市交流の継続を確認する調印を日米相互訪問し、大山町長とテムキュラ市議会議員（5名）が宣言し、そして署名が行われます。そのため大山町からは5月に訪米し、10月にはテムキュラ市が来日することが予定されています。

＊二点目は10周年以降にそれぞれ訪米、訪日した方々の名前を刻んだ銘判の交換を行います。これはかつて10周年（旧中山町時代）の時にも行いましたが、今回新たに20周年の記念事業として計画を進めています。

これにつきましては国際交流協会の会員の皆さまにもご寄付などの資金面での協力をお願いしたいと考えております。

＊三点目は記念誌の発行も計画され、現在のところ記念誌編集委員の方が中心となり作成に取り組んでいただいています。この取り組みに対して協会の皆さんには写真や資料の提供など協力をいただいています。

その他にも記念品の作成にあたって、どういったものがよいのか、さらに今日までの交流の記録の展示の場を新たに設置し、その展示内容についても多くの皆さんに分かりやすく興味を持っていただけるには、どのようなものが望ましいのか検討中です。

いずれにしても、この20周年記念事業が一つの節目となり、30周年あるいは50周年に向けて両市・町の交流が続き、さらに発展することを願い実行委員会一同協議を続けております。皆さまからも良いアイデアがありましたら実行委員会に提案いただけたら大変うれしく思います。皆様のご協力をお持ちしています。



10周年の銘板



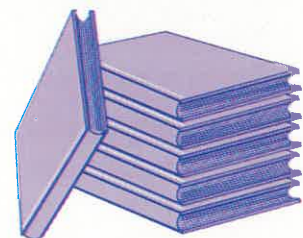
ロバーツ氏来訪時の記念写真



テムキュラ市の新市役所



1994年の姉妹都市提携合意書



お知らせ

中山国際交流協会発行のハローが大山町のホームページで見ることができるようになりました。
▶大山町ホームページ <http://www.daisen.jp/>